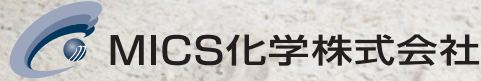


第51期 年次報告書

2019年5月1日～2020年4月30日



証券コード：7899

株主の皆様へ

平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第51期（2019年5月1日～2020年4月30日）の報告書をお届けするにあたり、業務の概況及び業績等についてご報告申し上げます。

当事業年度は「営業の概況」でご説明いたしますように、当社グループの売上高は2,491百万円、営業利益は48百万円、経常利益は46百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は9百万円となりました。

新製品の市場投入遅れや米中貿易摩擦による海外向けの産業用途の受注不振に加え、新型コロナウイルス感染拡大による企業活動の停滞によって食品・非食品分野とも受注が減少し、減収減益の結果となりました。

配当金につきましては、株主の皆様への利益還元を重要課題と考えており、地道に経営基盤を強化し、常に安定配当を維持することを基本方針としており、期末配当金を1株当たり5円とし、2020年1月に実施済みの中間配当金1株当たり5円に加え年間配当金は1株当たり10円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、いっそうのご理解をいただき、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
大塚 茂樹

2020年7月

今後の見通し

今後の見通しとしましては、プラスチック廃棄物等の環境問題の激化、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞などによる影響が懸念され、その動向は当社の経営を左右する大きな要因の一つです。

このような経営環境のもと、当社グループは中期的展望として『パイオニアブランド復活』をスローガンとし、継続して以下の重要な施策に注力してまいります。

- ①機能商品の開発で新たなビジネスの柱を構築
- ②製品品質向上で既存の市場シェアを死守
- ③営業力強化による新たな顧客の開拓と拡大
- ④リソースの有効活用
- ⑤SDGsを主眼においた製品開発

上記の施策を着実に推し進め、持続的な価値創造とお客様のご要望に応えられるサービスの質を高めることにより、更なる飛躍に取り組んでまいります。

次期（第52期）の業績予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。今後、算定が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得環境の改善傾向を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦による通商問題や新型コロナウイルスの感染拡大により、景況感は急速に悪化しています。

このような状況のなか、当社グループの売上高は、食品・非食品分野ともに減少し、2,491百万円（前連結会計年度比1.7%減）となりました。

利益につきましては、設備投資に伴う減価償却費の増加や物流コストの上昇等により、営業利益は48百万円（前連結会計年度比39.3%減）となりました。また、経常利益は46百万円（前連結会計年度比45.3%減）、投資有価証券評価損13百万円の計上により親会社株主に帰属する当期純利益は9百万円（前連結会計年度比83.0%減）となりました。

売上高を分野別にみますと、食品分野では、惣菜用途が増加しましたが、畜産用途、農産用途が減少し、1,473百万円（前連結会計年度比1.1%減）となりました。

非食品分野では、医療用途や海外向けの産業用途が減少し、531百万円（前連結会計年度比5.4%減）となりました。

商品等につきましては、486百万円（前連結会計年度比0.5%増）となりました。

分野別売上高は次のとおりです。

■ 売上高の内訳

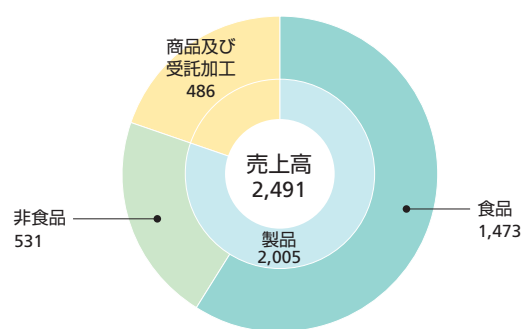
(単位:百万円)

分野別		第51期 (2019年5月1日から 2020年4月30日まで)	前連結会計年度比(%)
製 品	食 品	1,473	△1.1
	非 食 品	531	△5.4
	製 品 合 計	2,005	△2.3
商品及び受託加工		486	0.5
合 計		2,491	△1.7

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

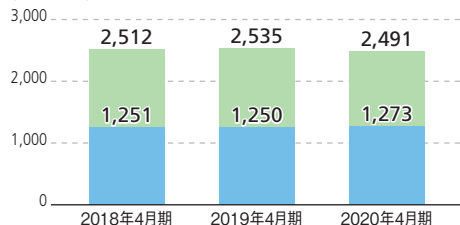
■ 第51期実績

(単位:百万円)



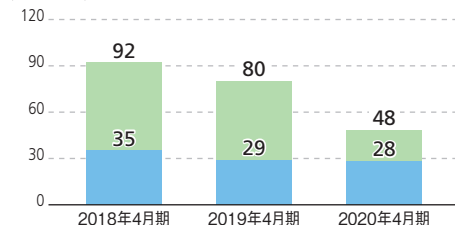
売上高

(単位:百万円)



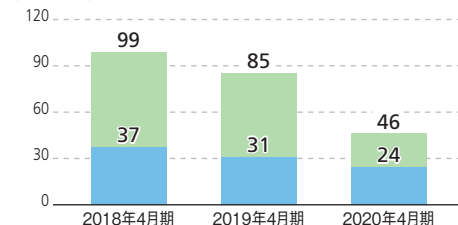
営業利益

(単位:百万円)



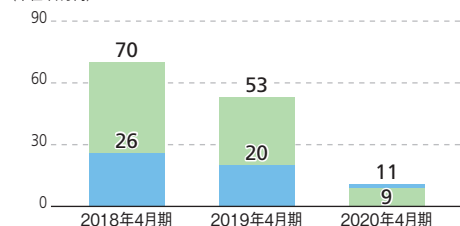
経常利益

(単位:百万円)



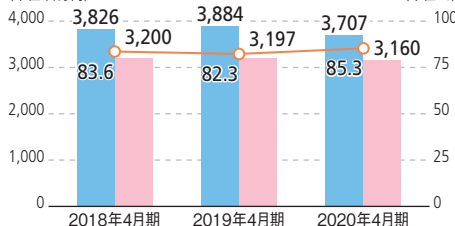
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



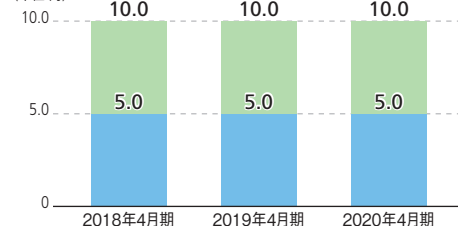
総資産、純資産、自己資本比率

(単位:百万円)



1株当たり配当金(年間)

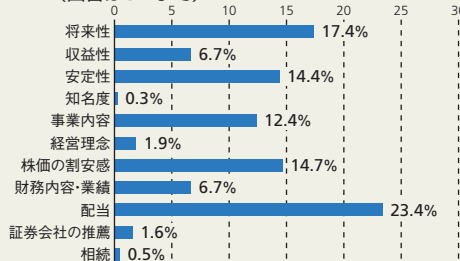
(単位:円)



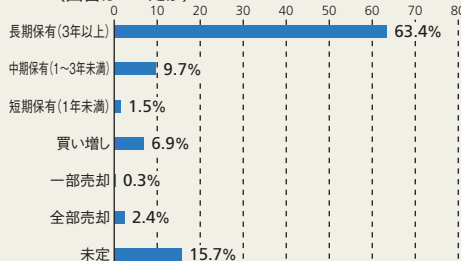
株主アンケートの結果について

2019年7月～8月に実施いたしました株主アンケートでは、数多くの株主様よりご回答を頂戴いたしました。厚く御礼申し上げます。今後の経営やIR活動等の参考にさせていただきます。

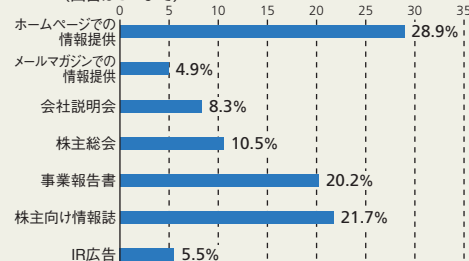
Q1 当社の株式を購入された理由は何ですか。(回答は3つまで)



Q2 今後の当社株式の保有方針についてお聞かせ下さい。(回答は1つだけ)

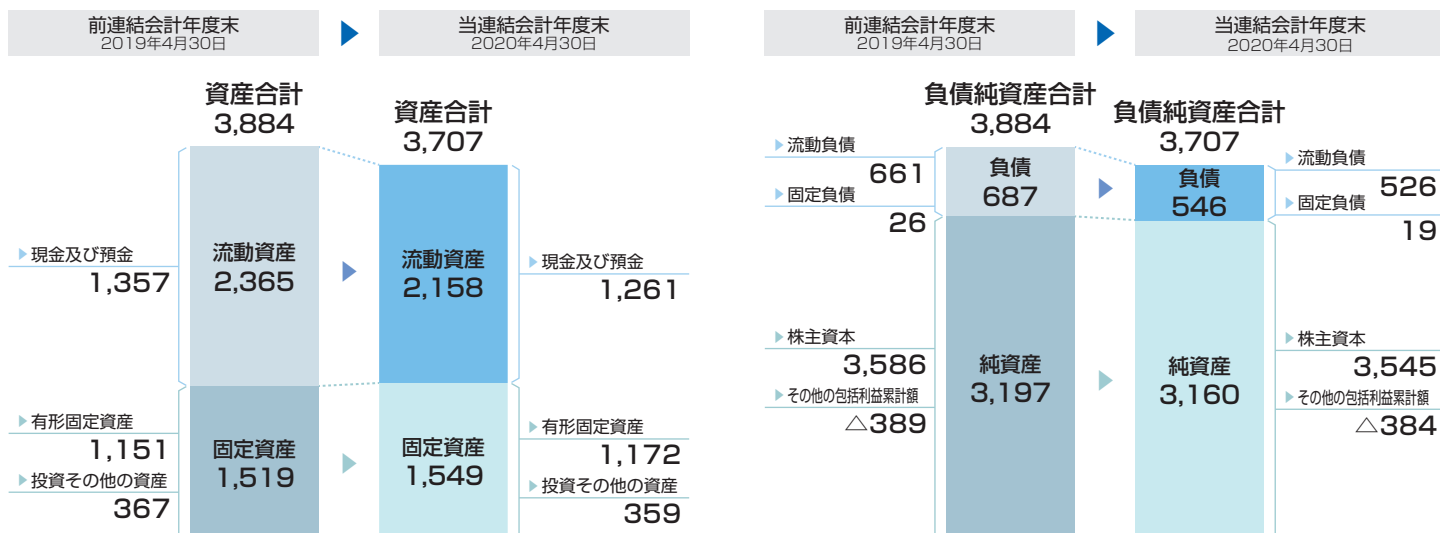


Q3 当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。(回答は3つまで)



連結財務諸表

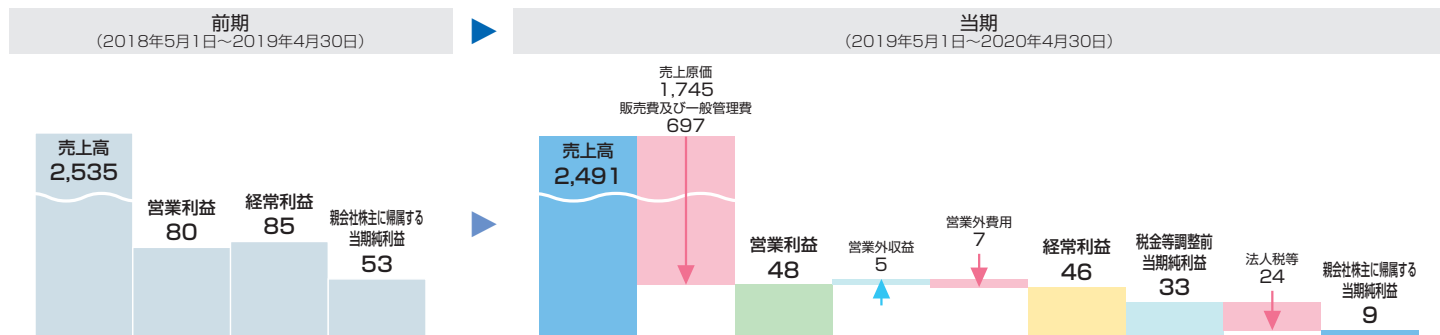
■ 連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



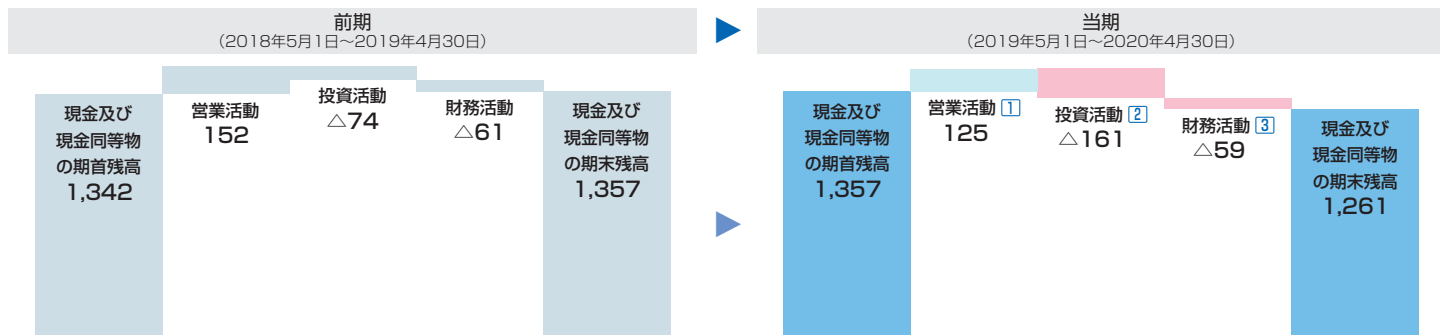
補足説明

- (資産)** 当連結会計年度末における流動資産は2,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ206百万円減少しました。これは主に現金及び預金が95百万円、受取手形及び売掛金が111百万円減少したことによるものです。固定資産は1,549百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加しました。これは主に生産関連設備完成に伴い機械装置及び運搬具が65百万円増加、建設仮勘定が34百万円減少、会計システム更新等により無形固定資産が16百万円増加したことによるものです。この結果、総資産は3,707百万円となり、前連結会計年度末に比べ177百万円減少しました。
- (負債)** 当連結会計年度末における流動負債は526百万円となり、前連結会計年度末に比べ134百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が83百万円減少、その他が35百万円減少したことによるものです。固定負債は19百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少しました。この結果、負債合計は546百万円となり、前連結会計年度末に比べ141百万円減少しました。
- (純資産)** 当連結会計年度末における純資産合計は、3,160百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益9百万円及び剰余金の配当52百万円等によるものです。

■ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



補足説明

- ① 営業活動の結果得られた資金は125百万円（前年同期比17.4%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益33百万円、減価償却費118百万円、売上債権の減少額122百万円等の増加要因がありましたが、仕入債務の減少額83百万円、未払金の減少額23百万円、法人税等の支払額32百万円等の減少要因があったことによるものです。
- ② 投資活動の結果使用した資金は161百万円（前年同期は74百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出144百万円等があったことによるものです。
- ③ 財務活動の結果使用した資金は59百万円（前年同期は61百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の減少額4百万円、配当金の支払額52百万円等があったことによるものです。

会社の概況

(2020年4月30日現在)

社名	MICS化学株式会社
資本金	7億74百万円
創業	1959年2月
従業員	82名（他に臨時雇用者17名）
主要な事業内容	多層チューブフィルムの製造、販売 ウレタンチューブフィルムの製造、販売 グラビア印刷ならびに製袋加工 シュリンクラベルフィルムの加工販売 その他合成樹脂製品の販売
本社	愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158-89 電話 0561-39-1211 URL: https://www.c-mics.com/

役員 (2020年7月28日現在)

代表取締役社長	大塚 茂 樹
取締役	高橋 英 明
取締役	丸山 等
取締役	後藤 もゆる
常勤監査役	長谷川 隆
監査役	佐原 司 郎
監査役	中神 邦 彰

会計監査人 監査法人 東海会計社

事業所

札幌営業所	札幌市手稲区新発寒6条1-1-5
仙台営業所	仙台市青葉区本町1-14-18
東京営業所	東京都中央区日本橋大伝馬町17-1
名古屋営業所	愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158-89
大阪営業所	大阪市福島区福島1-3-11
広島営業所	広島市南区京橋町9-3
福岡営業所	福岡市博多区豊1-8-21
本社製造所	愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158-89
東京製造所	埼玉県越谷市小曾川字居377
札幌製造所	札幌市手稲区新発寒6条1-1-5

子会社

エイワファイン プロセッシング株式会社	埼玉県越谷市大間野町3-108
------------------------	-----------------

ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社情報、取扱製品などに
加え、IR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。
<https://www.c-mics.com/>



株式の状況

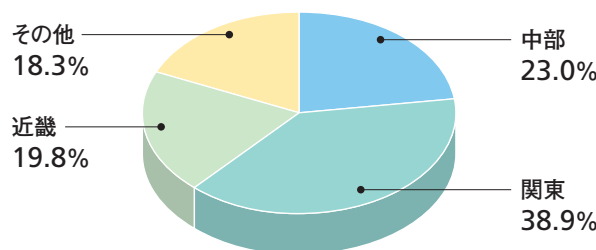
(2020年4月30日現在)

発行可能株式総数	23,850,000株
発行済株式の総数	5,850,000株 (自己株式602,507株を含む)
株主数	2,202名
上位10名の株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
盛田エンタプライズ株式会社	2,608,000	49.69
名古屋中小企業投資育成株式会社	210,000	4.00
MICS化学従業員持株会	159,374	3.03
MICS化学取引先持株会	156,800	2.98
株式会社三井住友銀行	120,000	2.28
伊藤 藤 公 一	60,200	1.14
八木 英 司	38,300	0.72
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	36,400	0.69
伊藤 藤 久 美	32,100	0.61
永尾 尚 子	32,000	0.60

(注) 当社は自己株式602,507株を保有しておりますが、上記からは除外しております。また、持株比率については自己株式を控除して計算しております。

地域別株主構成



株主メモ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	毎年7月
基準日	定時株主総会 毎年4月30日
期末配当	毎年4月30日
中間配当	毎年10月31日
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.c-mics.com/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。